

| 今月の経済動向（平成28年2月）

● 月例経済報告

	前回（1月20日）	今回（2月25日）	変化*
基調判断	景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。	景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。	→
個人消費	総じてみれば底堅い動きとなっている。	総じてみれば底堅い動きとなっている。	→
設備投資	おおむね横ばいとなっている。	おおむね横ばいとなっている。	→
住宅投資	おおむね横ばいとなっている。	おおむね横ばいとなっている。	→
雇用	改善している。	改善している。	→
生産	このところ横ばいとなっている。	このところ横ばいとなっている。	→
輸出	弱含んでいる。	弱含んでいる。	→
国内企業物価	緩やかに下落している。	緩やかに下落している。	→
消費者物価	緩やかに上昇している。	緩やかに上昇している。	→
海外経済	<u>アジア新興国等において弱さがみられるもの</u> 、全体としては緩やかに回復している。	<u>弱さがみられるものの</u> 、全体としては緩やかに回復している。	↓

* 前回からの変化：上方修正 ↑、下方修正 ↓、据え置き（表現変更） →

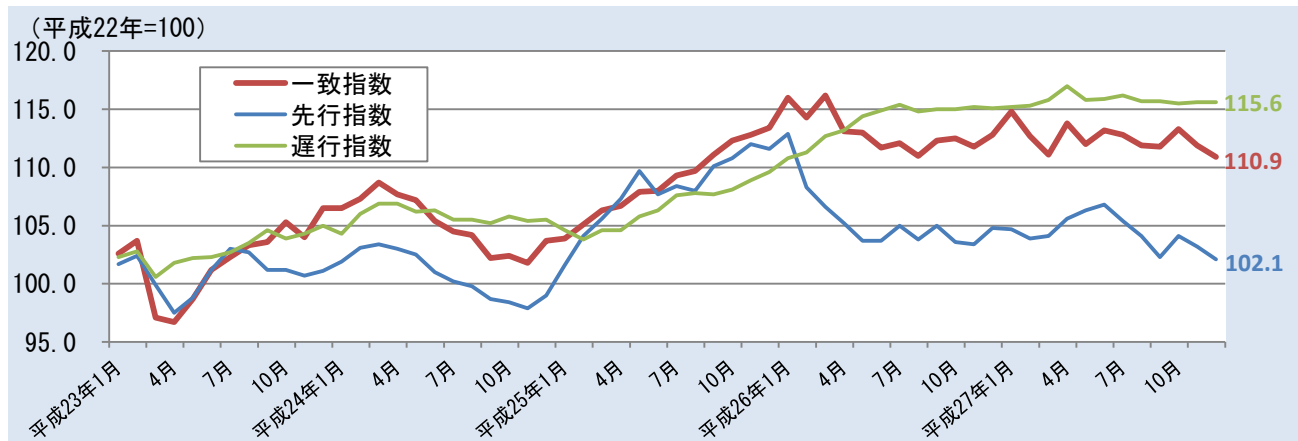
* 下線部分は先月からの主要変更点

[月例経済報告：内閣府](#)

● 景気動向指数（平成27年12月）

平成27年12月のCI一致指数(改訂値)は前月より1.0ポイント低い110.9ポイントとなり、2ヶ月連続で前月を下回った。CI先行指数は2ヶ月連続で低下し102.1ポイント、遅行指数は115.6ポイントとなった。景気の基調判断(CI一致指数)は、「足踏みを示している」を据え置いた。

・ CIの推移



[景気動向指数：内閣府](#)